

平成18年6月26日

## 平成18年学習支援事業（訪問講座）に関する報告

- 日 時 平成18年6月15日（木）13:00～15:00
- 場 所 長野県松本市中央公民館 ホール
- 講演者 食生活ジャーナリスト 佐藤 達夫
- 参加人員 200名（消費者団体195名、県職員5名）

### 1 講演の概要

#### (1) 講演テーマ

「食品表示の読み方について」～健康で豊かな食生活の実現のために～

#### (2) 開催目的

安全で安心して暮らせる社会の実現に向け、地域において消費者活動に取り組む消費者が、最近の消費者問題を把握するとともに、消費者活動のあり方をともに学び、相互に連携を図りながら活発な消費者活動を行えるよう開催する。

#### (3) 講演内容

- ①消費期限と賞味期限
- ②加工食品で気になるのは食品添加物
- ③遺伝子組み換え食品表示
- ④有機農産物表示
- ⑤加工食品の原産地表示
- ⑥生鮮食品の原産地表示
- ⑦健康のために最も重要なのは「栄養価表示」
- ⑧「バランスよく」「適量」食べる

食品の表示内容について、レジュメに沿って注意すべき点などについて説明していただいた。

遺伝子組み換え食品や有機農産物については、その危険性について、科学、環境、企業経営等の様々な方面から説明をいただき、消費者も正しく正確な知識を身につける必要性を学んだ。

また、食品表示のチェックについても、必要以上に過敏になりすぎず、表示からかいま見える企業の姿勢をチェックすることが肝要であり、健康な生活を送るための一つの手段として、上手に利用することが大切である旨についてご講演いただいた。

### 2 質疑

原産地の表示について、飼育期間によって表示される内容が変わるのか。

長野県生活環境部生活文化チーム 消費者ユニット

(注) この報告書は、事務担当者が作成したものであり、内閣府国民生活局の正式な見解ではありません

ません。